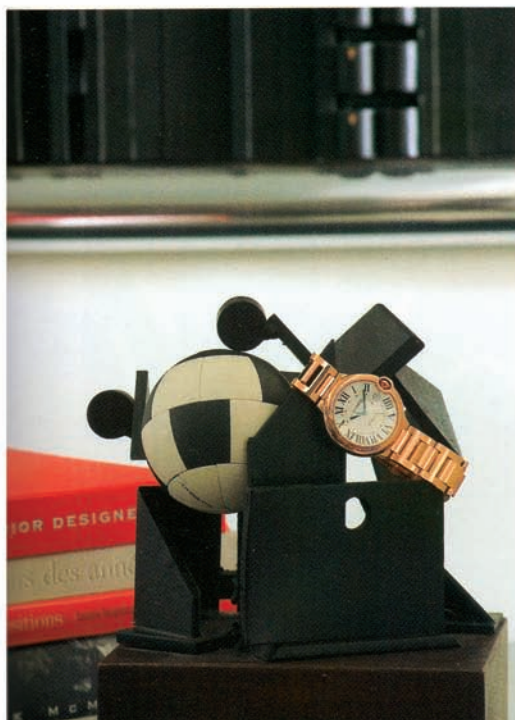


November 2007

Esquire Japan

Esquire



過去と未来が交錯する圧倒的な造形美。

Christopher Coleman インテリアデザイナー

色の魔術師とも言われるほど、カラフルな小物遣いでインテリアをデザインするクリストファー。彼の部屋は自作の仕事とは対照的に黒と白。モノトーンの部屋にピンクゴールドの時計がよく映える。高い美意識を持つ彼の口から、パロンブルー ドゥ カルティエの曲線にため息が漏れる。

「圧倒的な美しさだね。この時計のために部屋をデザインするならば、アールデコでパステル調のインテリアかな」仕事柄、ニューヨークとマイアミを行き来する彼は、青い

空に白い砂浜の海岸沿い、優しい光が注ぐコーラル色の壁の部屋、ピンクのフラミンゴの飾りが庭にある。そんなビーチハウスを連想し、インスピレーションを得たようだ。「重厚なガラスのフェイスはクラシックなだけでなく、フューチャリスティックだから」。色彩と造形に敏感なアーティストの耽美主義が反応した瞬間だった。①

パロン ブルー ドゥ カルティエ LM 丸く滑らかな曲線を描く風防ガラスは芸術品のよう。●自動巻き、18PGケース。¥3,150,000